

ロータス林のわくわく通信



平成29年8月20日刊行

八月 葉月

皆様こんにちは。待ちに待ったお盆期間に合わせた夏休みはいかがお過ごしでしたら幸いですでしょうか？ 楽しくて楽な時間は、ほんとうに「あこ」と言う間に過ぎ、早くも年末に向けてあと4カ月！ 一日一日大切に残り約130日を過ごしたいですね。

さて、弊社では、整備士さんを募集しています。しかし、額に汗する多くの職種で人手が足りない昨今、我々の整備業でも「車が好き」という若者が少ないと言われていて、仲間を増やしたいと思ってもなかなか反応が少なく寂しい限り。そこで、メカニック職の募集中のポスターに、整備士という職業の社会的地位を高めたいという思いを込めて、弊社の整備士さんたちに協力してもらってポスターを作りました。



かなりサイズが大きくて、インパクトある仕上がりで、製作は、矢三のワークサインさんへ、これを見て、会社見学させてください」などと申し入れが殺到する事を期待しつつ、自動車が大好きで、それを生業としたい」方がいらっしやいましたらぜひご紹介下さい。



仕事師のポーズでSNSに拡散して下さい方にはお礼をさせて頂きます。



夏休みもあと少し、8月も残りの2週間となってしまうので汗っ。ようや直しお付き合ってください。

【祝】森永のチョコボールが50周年！

森永のチョコボールが50周年だそうです！「祝！半世紀！」金のくちばし、銀のくちばしを集めましたよね。

私たちが子どもの頃は、ピーナッツとキャラメルの種類で、キャラメルは赤のパッケージでしたが、現在は、3種類、ピーナッツといちごとキャラメルの種類で、「キョロチャンズ」というキャラクターや、金のたまごをつけ狙う「ブラックキョロちゃん」もいて、ネットではゲームが子どもたちに大人気だそうです。

続くには続くわけがある！目指すは100周年ですが、その時はたぶん、残念ながら私は見えないと思います……。

美味し、トウモロコシの茹で方！

今年はず、旬を過ぎてしまったのですが、来年のために、美味しいトウモロコシの茹で方を書いておこうと思います。

今年は、大粒で、柔らかくて、甘くて、生でも食べられるゴールドラッシュという種類が出回り、満喫させていただきました。

しかし、正しい茹で方を知っていたら、もっと美味しくいただけたかもしれません。美味しい茹で方とは、皮付きのまま水から茹でて、沸騰後3〜5分ラクラク茹でる」ですって！なんと皮付きで！だそうです。皮つきで茹でると旨味が逃げず、ヒゲ（絹糸）に色素があるので、鮮やかな黄色を出してくれるそうです。塩は、茹でる時に入れると、大量に必要なもので、茹であがった時に塩水をハケで塗ると良いそうです！ 来年はぜひやってみます。

「ヒアリ」の天敵「ゾンビバエ」

この夏、攻撃的で強い毒を持つ「ヒアリ」が発見され、定着してしまわないように環境省が対策を強化し、水際での防衛が徹底され、お役の皆さんに感謝するわけですが、原産地のブラジル、アマゾンでは、意外や意外、生態系を変えるほど繁殖はしていないそうです。

なぜなら、恐ろしい天敵がいるそうで、その正体は、「ゾンビバエ」という恐ろしいバエ。まずはどのように近づくか。

- 1) ヒアリに卵を産み付ける
- 2) ヒアリの体内でウジムシが体液を吸って成長する
- 3) 成長したらヒアリの頭に向かってゾロゾロ移動する
- 4) 脳を食べながら酵素をだし、ヒアリの頭をドロドロに溶かしながら頭から出てくる……らしい。

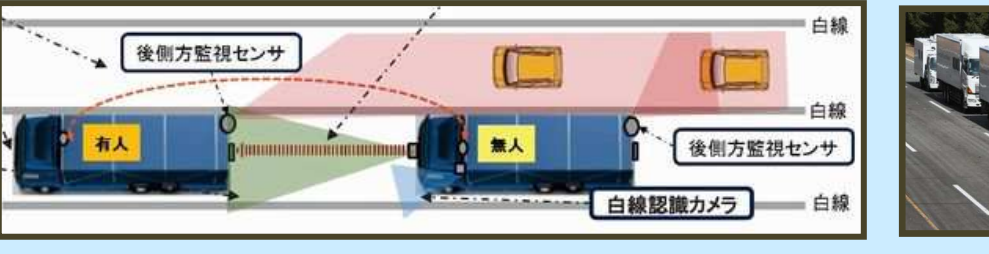
ニュースでやってましたけど、出てくるときヒアリの頭がギロチンされたように落ちるんです「ひっ〜」！

もしも天敵のヒアリがいなくなったら、何に寄生するのでしょうか？ ヒアリ、ゾンビバエとも防衛宜しくお願いします。

自動車産業の現状と将来展望

業界の話題を少し・・・先日、所属している自動車整備振興会「整友支部」のセミナーで、日刊自動車新聞社の取締役兼編集長の高橋賢治氏のお話しをお聴きしました。タイトルは「自動車産業の現状と将来展望〜自動運転の影響〜」。素朴な疑問ですが、自動運転と無人運転の違いは、自動運転車は、飛行機の操縦のようにパイロットがいて、離着陸はマンパワーで、軌道に乗ればオートマチックで走行する車で、無人運転車は、運転する人が乗っていないでも目的地に運んでくれる車と分かりやすく説明してくれました。自動運転車は、もうすでに日産のCMでもお馴染みで、駐車場の自動化や前方車の追従やレーンキーピング等の技術が普及しつつあり、今後は、一つの技術が進化していくという域に入っていますが、無人運転車がなかなか普及できないのは、●倫理的な問題をプロラムしなくてはならない、右に子ども、左に老人がいるシチュエーションで何らかの故障でブレーキが効かなくなった場合、どちらにハンドルを切るかなど、●速度など交通法規を守るべきか前の車にそのままついていった場合どうなるか、●有人運転と自動運転が混在していると「アイコンタクト」あーんの呼吸」などが出来なくなる、●サイバーセキュリティ対策に不安がある、などの課題がまだまだクリアできていないそうです。

その後、業界誌で、モータージャーナリストの岩倉みづさんの「ちょっとひとこと」というコーナーで関連した話を読みました。サブタイトルが「トラックの自動隊列走行」。自動運転は、歩行者や自転車が入り乱れ複雑に交差する、仮道よりも車道だけが同方向に走る高速道路から進めていくとする流れがあるのですが、先頭のトラックのみ運転手が乗って、複数台のトラックが先頭のトラックに追従して走るシステムに疑問を投げかけています。怖いのは、●後続車とは通信だけで繋がっているのに通信が途絶したらどうなるか？、全長10メートルの10トントラックが4台隊列走行をするとしたら、4台の間隔で50メートル以上の長さとなり、●運転手がトイレに行きたくなったらいどうする？、●他の車が本線に入る時、スムーズに入れる？、●そのうちの否が何かに衝突した時や、パンクした時はどうする？、など、机上の論理では、うまくいくはず」が、いざ実際に運用する段になると、いろいろと解決が困難な問題が湧き起こり、実現に至るには時間がかかるといえます。それで、将来展望は「きちんとやっつこう」というのは生き残れる」という事でした。



宮崎駿監督監修「紅の翼」

「ラーラロッサ」遊覧飛行

去年8月からの、広島県尾道市のリゾート施設を中心に芸予諸島の上空を「水空両用機」で遊覧飛行する観光事業が、1周年を迎えるに当たり、5機あるうちの1機を、スタジオジブリの宮崎駿監督のデザインで「ラーラロッサ」機として運行しているそうです。

機体は、米クエストエアクラフト社の10人乗り小型機に、離着水用のフロートをつけた水空両用機で、上空を50分かけて遊覧するそうで、お値段は、土・日・祝は大人37,000円、子ども25,900円。主人公のポルコロッソが乗ってたら、尚良しです。